

KOHNO Masanori

河野 勝宣 博士（工学）

1985年11月 横浜市生まれ

2012年 3月 北見工業大学 大学院 博士後期課程 修了

2012年 6月 鳥取大学 助教

2017年 3月 鳥取大学 講師

2020年 3月 鳥取大学 准教授

日本の最北に位置する国立大学

映画鑑賞と自然めぐりが好きです



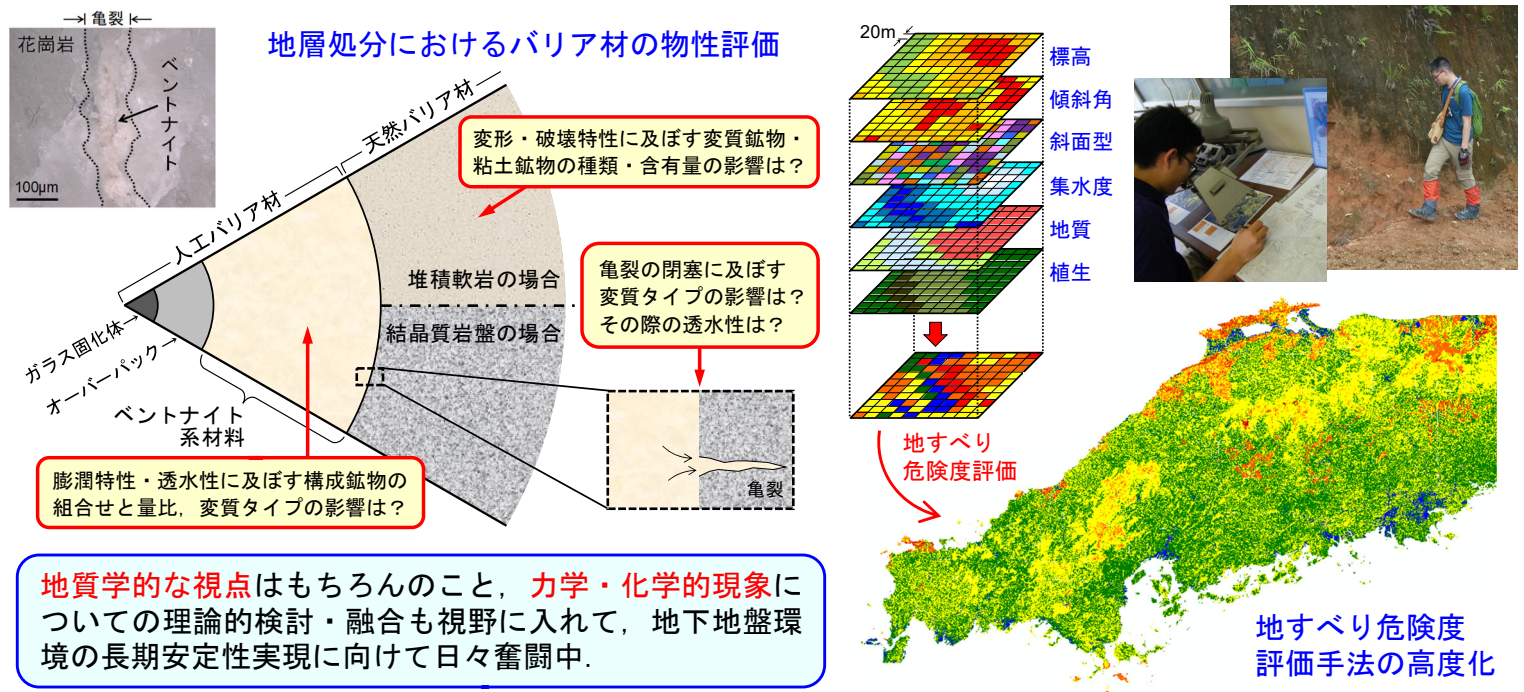
研究分野

地盤工学, 岩石力学, 土木地質学

研究テーマ

粘土鉱物を含有する土・岩の物性評価, 斜面危険度評価

主に実験・分析, 野外調査を駆使して地表面から大深度地下までを対象とした研究を行っています。主な研究テーマは、粘土鉱物を含有する土・岩の物性評価や地層処分におけるバリア材の物性評価に関する研究、斜面崩壊ハザード評価の高精度化に関する研究など、地盤工学・土木地質学的見地から研究を実施しています。



地質学的な視点はもちろんのこと、**力学・化学的現象**についての理論的検討・融合も視野に入れて、地下地盤環境の長期安定性実現に向けて日々奮闘中。

最近の主な論文

M.Kohno, Y.Nara, M.Kato, T.Nishimura: Effects of clay-mineral type and content on the hydraulic conductivity of bentonite - sand mixtures made of Kunigel bentonite from Japan, **Clay Minerals**, Vol.53, No. 4, pp.721-732, 2018.

河野勝宣, 野口竜也, 西村 強: AHP法およびGISを用いた中国地方における地すべりハザードマッピングの試み, **日本地すべり学会誌**, Vol.57, No.1, pp.3-11, 2020.

受賞歴

2010年 土木学会平成22年度全国大会 第65回年次学術講演会 優秀講演者表彰 受賞

2015年 日本地すべり学会平成27年度研究奨励賞 受賞

2017年 地盤工学会 第52回地盤工学研究発表会 優秀論文発表者賞

2019年 平成30年度鳥取大学科学研究業績表彰 受賞

所属学会

土木学会, 地盤工学会, 資源・素材学会, 岩の力学連合会, 国際岩の力学学会 (ISRM), 日本地すべり学会, 日本粘土学会, 日本応用地質学会

主な担当科目

土質力学Ⅰ・Ⅱ及び演習(2年前期後期・分担), 岩盤力学(3年前期・分担), 土質力学実験(3年後期・分担), 岩盤物性論(大学院1年Q3・単独)

研究業績, 科研費プロジェクト, 競争的外部資金獲得等, 詳しい情報は下記のページに記載しています。

<https://geotech-tottori-u.jimdofree.com/> (地盤工学研究室) <https://researchmap.jp/kohnom>